

お取引様 各位 お客様アンケートご報告

拝啓

貴社ますますご盛栄のこととお喜び申し上げます。
毎々格別のお引き立てを賜り、ありがとうございますお礼申し上げます。

さて、この度はご多忙の中、弊社業務に関するアンケート調査にお応えいただき、ありがとうございます。

1月分アンケート調査の結果について集計致しましたので、ご意見の一部を紹介致します。

■ご意見①■

「コーティング剤やペイント剤を自分たちで塗布出来ないのですか？」

生息しやすい場所や、薬剤のノウハウを持っていないと完全駆除は難しいです。

当社では技術向上の為に、1ヶ月に一度農学博士を招き、害虫の習性・特性などについての勉強会を開いております。

その上で弊社の施工スタッフが現場の状況などを考慮した上で、責任をもって対応致しますので、どうぞご安心下さい。

■ご意見②■

「先日作業を実施してもらいましたが、飲食店街に店舗がある為、今後近隣店舗から侵入して来ないか不安です」

飲食店で多く見られるチャバネゴキブリは、翅はありますが飛ぶことが出来ず、行動範囲はそれ程広くはありません。

また、ゴキブリはそれぞれテリトリーを持っていますので、搬入物などに付着して侵入する以外では、大きな移動はしません。従って、飲食店街の店舗の場合でもしっかりと駆除効果をあげられます。

また、FCCコーティング剤は1年間効果が持続しますので、たとえ外部から新たなゴキブリが侵入してきた場合でも、施工しているFCCコーティング剤を食べ、しっかりと駆除されますので、ご安心下さい。

■ご意見③■

「なるべく担当者(当日作業員)の変更がない事を希望します」

申し訳ありません。弊社は施工に関して現状は担当制を取っておりません。しかし、弊社の施工は委託した業者やアルバイトは雇わず、技術・対応に関して研修を重ねた正規スタッフで行っております。今後より密な情報の共有を行い円滑な作業に心掛けていきますので、よろしくお願ひします。

一部でございますが以上の様なご意見・ご指摘をいただきました。ご意見・ご指摘は全て真摯に受け止め改善してまいります。

どうぞこれからも、忌憚のないご指導・ご鞭撻を賜ります様、よろしくお願ひ申し上げます。

また引き続き、皆様からいただいたご意見等を紹介してまいりますので、重ねてよろしくお願ひ致します。

敬具



昨年2月よりアンケート調査を毎月行っております。
引き続きご協力いただければと存じております。

アンケート専用FAXのフリーダイヤルを設置しておりますので、こちらもご利用くださいませ。

お客様アンケート
お問い合わせ専門FAXフリーダイヤル
見ないムシ

0120-32-3164

※一都八県以外はご利用出来ません。
(東京・神奈川・千葉・埼玉・栃木・茨城・群馬・山梨・静岡)

FCC News
2016年2月号 No.142



Index

お客様アンケートご報告

社長コラム & 社員コラム

季節のムシ暦(98)

生活の豆知識

FCC商品紹介

株式会社 FCC



〒251-0043
神奈川県藤沢市辻堂元町4-3-32
Tel 0466-31-3164
Fax 0466-31-3174
URL <http://www.fccsystem.co.jp>
E-mail info@fccsystem.co.jp

社長コラム

湘南ではたらく小さな会社の社長のblogより

今年の仕事始め

昨日でした。



新年会も。



始める前に、忘年会で若手に迷惑を掛けた大人がいましたので、私から注意。

「人に迷惑をかける飲み方はしないで下さい。」

カラオケボックスに2次会に行きました。

そんな話した私が泥酔してしまいました。

何やってんですかね。T君やK君やTさんあたりに大変迷惑掛けました。申し訳ありません。

大人ダメですね～。

それから私は武道とか格闘技とかやってるじゃないですか。この泥酔状態では誰も守れないですね。私の最大の護身は酔わない事。

それから私は子供が居ないので、社員のことがみんな大好きなんです。それを酔って女性社員に言ったらセクハラになります。気を付けます。

社員のみなさん、私は中小企業経営者の前に、修行中の人間です。どうか、大目に見てやって下さい。今年の私は、社員のみなさんの事も大目に見ますので…。

パソコンからFCCブログをチェック!!

FCCニュースに掲載しているブログ記事以外にも FCCホームページには多くのブログがあり、業務の事や日常の出来事など様々なエントリーが投稿されています。

気になった方は

ゴキブリ駆除 FCC

検索

トップページから全てのブログにアクセスする事が出来ます。

ある法則に基づいた計算式です。

宿+飯= 2

寒+温= 7

苦+苦= 12

人+色= 20

では、
転+倒= ?

※ヒント
四字熟語

答えはNewsの中のどこかに！

FCC社員コラム

まっちゃん Blog

もうすぐ

早いもので1月も後半に差し掛かりました。あつという間に感じます。この調子で歳をとっていくのかと思うと…笑 今年はなにかやりたいことを見つけてそれにチャレンジしたいです。

さて、FCCは来週の金曜日、経営指針発表会となります。今期あったことを振り返り反省し、良いところは来期に活かします。

指針発表会が終わると待ちに待った社員旅行です。毎年、社員旅行に行かせていただけることに感謝です♪! 今年もM1ならぬF1グランプリがあります、新しいメンバーも増え楽しみもたくさんです。

今期の締めは1月までです。しっかり来期に向けての準備をしていきます。

タクノーブログ

来期に向けて

年が明けて、もう2週間が経ちました。時間が経つのは、早いものです。弊社は、1月が期末になり、2月が期替わりになります。

先日、来期に向けての予算会があり、売り上げ目標を定めました。今回が初めての参加でしたが、営業として大変勉強になりました。数字への意識が一段と増しました。

来期の予算は、やりがいのある数字です。不可能な数字ではありません。予算は、あくまで予算ですから、その2倍の売り上げをあげる気持ちで、努めていきたいと思います。

まずは、今期最後まで気を抜かず、来期良いスタートが切れるように笑顔で終わればと思います。

頑張ります!

ネズミ捕りの話

私は、日常生活の場での「ネズミ」による被害が、ゴキブリ等による害よりも、はるかに大きいのをあまり、実感しない。また、判ったとしても、その対策は、素人では仲々、太刀打ちの出来る相手では無い。しかし、何も手をこまねいて居た訳でも無いのだ。

この人とネズミの戦いは、逆のぼると弥生時代に端を発し、それは、「イネ」の栽培が盛んになってからだと云う。随分と年季の入った話ではある。その苦斗の痕跡は、「登呂遺跡」の高床倉庫の「ネズミ返し」の構造から詳しく読み取れる。この「ネズミ返し」は、ネズミの侵入を防止する板状の構造物で、倉庫の柱や出入り口に設えられている。

この様に、ネズミとの戦いの歴史は古いのだが、これを身近に、また、切実に感じて本気で取り組んだのは、伝染病の「ペスト」の流行が、切っ掛けらしい。それは、今から120年前の明治29年(1896)にわが国で「ペスト」が発生し、その6年後、明治32年頃から関西方面から関東に流行地が広がって、大きな問題になってからである。

しかし、今日、こんな話もとにかく、この「ペスト」と云う伝染病(感染症)をスラスラと語れる人は、そんなに多くは無いかも知れない。だが、この病気は、その昔、「黒死病」と呼ばれ、これに罹ると3人に1人は死ぬと云う程、致命率が高く、怖れられていた。今でこそ、患者発生は、世界で年間3,000名前後と云うが、14世紀から18世紀のヨーロッパでは、ヨーロッパ全人口の4分の1が、死亡したと云う歴史的事実がある。

この病気の感染経路は、病原菌がネズミからノミに、血を吸ったノミから人に感染する順をたどる。要するに、ネズミは病気の媒介者なのである。人は、この怖ろしい病気から免れるためには、汚染源である「ネズミ」を退治する大事さに気付き、一所懸命に努力した。

ヨーロッパではこの怖い病気であるペストの防遏のために、ネズミ退治が盛んに行われた様子が、画家レンブラントの「ネズミ捕り屋」なる絵が残されていることからもうかがえる。

また、ネズミ退治にまつわる話としては、「ハーメルンの笛吹き男」の物語がある。なんでも、笛を吹いてネズミを誘い、ヴェーザー川に溺れさせたと云う。この話の面白いのは、ネズミは音に敏感な動物で、ある特定のレベルの音に警戒もするが、誘引される事もあると云う習性をよく理解し、活用したところにある。

この「笛」は、さしつけネズミ退治の大変な「道具」であって、今で云う「機械的物理的防除法」具体例でもある。また、この笛吹き男は、今日の有害生物駆除専門業者で、PCOと称する業種の人であったのだ。

それにしても、ペストと云う病気は、私たちが気付いていないだけで、野生動物の間では、流行を繰り返しているので、今でも、油断の出来ない監視対象なのである。諂わざに、「禍わいは、忘れた頃にやって来る」と云うのがある。用心に越した事はないのだ。

この最近の事例が、一昨年の復活感染症「デング熱」で、あの時のマスコミの騒ぎ振りは、なんとも尋常ではなかった。

しかし、虫退治の大切さを再認識させたのは、幸いである。「デング熱」で、あの騒ぎだ。もしも、これが「ペスト」であつたら、どんな騒ぎ方をしただろうか、興味深い。確かに、経験した事の無い、伝承的な災いは、不安よりも恐怖ではある。まさか、こんな事がと思うが、油断について起こるのが、伝染病なのである。これへの対応は、予防しかないのだ。それは、ベクター・コントロールである。

さて、ペストの塊まりのような小動物の「ネズミ」退治の方法だが、これには様々あつて、人の手による捕殺に始り、天敵動物による駆除、薬物による忌避や殺滅、機械器具による撃退などがある。

どれも、効果を発揮させるためには、人とネズミの知恵くらべで、今だに苦斗を強いられている。先ずは、手始めに私達の生活の場のネズミ退治の様子を眺めてみよう。それは良いのだが、日本人は、昔から「ネズミ」に対して妙に優しいのだ。

面白い事に、わが国では、古来、ネズミは貧乏な家とは無縁な存在で、裕福な物持ちや長者様の家にしか、棲み着かないされていた。それは何にしろ、ネズミは、昔から「大黒様」のお使いであるとされていて、しかも、裕福な家にしか行かないのだ。したがって、それが居ると云う事は、お金持ちのシンボルであったのだ。

これはネズミの習性に由来する事のようだ。ネズミは、暖かい場所を好み、餌が豊富で、適当な活動空間が、必要なのである。確かに、貧乏な家には、ネズミの餌になるような余分なものは、何一つ無いのだ。当然の事、ネズミが、棲みつく訳が無い。わが国には、この様な背景があるので、ネズミ退治が、それ程、真剣では無かったようだ。

しかし、それでも江戸時代には、「石見銀山鼠取薬」なるネズミ退治の薬が、用いられるようになった。これは、食毒剤でネズミの好みそうな食材に混ぜて与えるものである。その成分は、亜砒酸であるが、石見国宍ヶ谷銀山で銅を採掘する際、採れる砒石から造られた。

この毒薬は、当時の落語や怪談などの話の中で、しばしば登場し、よく知られている。また、明治時代からネズミ退治と云えば、かならず「猫イラズ」が出てくるが、その有効成分は、「黄磷」である。

「猫イラズ」が、製品として市場に出て来たのは、明治38年の事で、これが、わが国で初の黄磷性殺そ剤であった。この製剤は、わずかにニンニク様の臭気を発し、暗い場所で「リン光」を発するので、これを「人魂(ヒトダマ)」と称し、恐れ話の材料にして語っていた。その昔、子供達にとっては、幽霊や人魂は恐い存在であった。

殺そ剤には、急性経口毒性の高いものから体内の血管の傷害で、ゆっくり死に至らせるものなどがある。また、中には、放線菌の一種から分離した忌避物質などもある。秋の「お彼岸」の頃には、真っ赤な「彼岸花」が山野、田畠の土手や畦、お墓の周囲などを埋め尽くす。

この花の根茎には、ネズミやモグラの有毒成分が含まれているので、植えられたと云う説もある。彼岸花の根の周囲には、ミニズも住まないと云う。ミニズが居なければ、これを食べるモグラも来ないので、土手に穴を開ける事が無いのも、うなずける話。都市化の中の「ネズミ退治」は、仲々厄介な作業であるが、今から根気よくやる必要がある。

生活の豆知識

ウイルス活性化の原因

"冬"といえばインフルエンザやノロウイルスなど、様々な種類の風邪や病気が流行します。

それは一体なぜなのでしょうか？

今回は冬場に活性化する風邪やウイルスの原因を追究したいと思います！

①ウイルスは乾燥した環境と低温を好む

一般に風邪やインフルエンザウイルスの適温は概ね15°C～18°C以下で活動が活発になります。また湿度は40%以下を好みます。

②ウイルスは湿度が低いと空中に舞う

夏場は空気中の水分量が多いので、ウイルスは浮遊することができません。しかし冬場は空気が乾燥するため、埃と共に舞い上がり、人に感染しやすくなります。

③体が冷え抵抗力が落ちる

人間は体温が少しでも下がると免疫力が低下します。医学的には体温が1度下がるだけで免疫力が30%～40%も低下するといわれています。反対に、体温が1度上がるだけで約60%もの免疫力が上がります。

④乾燥により喉や鼻の粘膜が炎症を起こしやすくなる

粘膜が乾燥することにより細菌やウイルスを吸着することが出来ず、排除することが出来ません。

いかがでしたでしょうか？

上記の事項をヒントに冬場の風邪対策を進めていきましょう！

まずは部屋の加湿やお風呂にゆっくりと浸かるなどして体温を上げることから始め、残りの冬場を健康的に過ごしていきたいですね！

暖房中も定期的に換気を

冬と言えばストーブ・こたつ・エアコンなどの暖房器具が欠かせない時期です。

猫はこたつで丸くなるといいますが、人間も同様ではないでしょうか？なかなか部屋から抜け出せないですよね。

さて部屋を暖めるにあたって、部屋の換気は出来ていますか？せっかく暖めたのに、寒い外気を部屋に取り入れるのは億劫ですよね。

しかし、定期的に換気を行わなければ、体に悪い影響を及ぼします。

換気の必要性

現在の家は昔と比べると気密性に優れています。そのため、暖房器具から発生する二酸化炭素や一酸化炭素による中毒症状を起こしかねません。またハウスダスト(ダニの死骸やフン、カビや人間の剥がれ落ちた皮膚など)により、アレルギー症状を引き起こす原因にもつながります。冬場になると着込む衣類の数も増えるため、その分ホコリを外から運び込み、部屋の中で舞ってしまいます。乾燥した粘膜には厄介で、風邪の原因にもなります。

換気の目安

一般に一人あたりに必要な酸素量は1時間に6畳1間分と言われていますが、換気をしなければ人間の呼気により空気はどんどん汚れていきます。また咳をした際に細菌をばらまいている可能性があります。理想の換気頻度は1～2時間に1度です。6～8畳の部屋であれば、1回の換気に必要な時間はたったの5分！

これなら実践できそうです。

あとは週末の昼間など比較的暖かい時間を使って30分ほどの換気をしてみましょう！

同時に掃除もはかどりそうですね♪

寒くてなかなか歩らない冬場の換気。

家の換気扇も使いつつ、まずは5分間の換気から始めてみましょう！

新鮮な空気を吸って健康的に冬を乗り切りましょう！

FCC取扱い商品紹介

FCC®Fine Water

1本5,760円(税込) 4リットル



地球と人に優しい100%水の アルカリイオン電解水

界面活性剤や化学薬品を一切使用しない、地球と人に優しい100%水のアルカリイオン電解水。作業も簡単で手荒れもしない、極めて高い安全性を持っています。洗浄・除菌・消臭・防錆の4つの効果を拥えています。二度拭きがいらないので、電子レンジや冷蔵庫の中も掃除が簡単です。

FCCオリジナルエコ商品の販売や、衛生に関する店長ブログなどもあります！

気になった方は

衛生用品.com

検索